

2. 記号の使い方

下の文章では、どのような記号が使われていますか。

『バンコク週報』によると、2001年11月18日より、バンコク都心にナイトバザールがオープンするという。不動産会社のピーコン・ディベロップメント社（PD社）が、ルンピニー公園向かいの120ライ（約19万2千平米）の土地（タイ国軍士官学校跡地）を再開発し、ナイトバザールを建設する。

バザールの名称は「スアナム・ナイトバザール」で、投資総額は5億バーツである。ナイトバザールには、「健康」や「教育」などの特色あるゾーンも設けられる予定だという。

PD社のエクスチャーディー社長は、「一日あたりの集客力は3~4万人」と予想し、成功に向けて大きな自信を示している。

日本語の文章を書くときに使う記号

① 「 」 (かぎかっこ)

ใช้แทนเครื่องหมายคำพูด, ต้องการเน้นหรือแสดงคำ หรือวลีที่ต้องการให้มีความชัดเจน, มีความพิเศษ เป็นต้น

② 『 』 (二重かぎかっこ)

- ใช้ในการเขียนชื่อหนังสือ นิตยสาร ฯลฯ

- ใช้เมื่อเป็นเครื่องหมายคำพูดที่ซ้อนอยู่ใน ค้างค้ำค้อ อี๊กชั่นหนึ่ง

例：わたしの父は「自分でよく考えろ。」とよく言う。

今は「地球の危機」なのだ。

以前、若者の中で『Harry Potter』という映画が人気がある。

森さんは「もっと『はい』と『いいえ』をちゃんと言えるようになりたい。」とっていた。

「わたしの母はいつも『もっと頑張って』というんですよ。」と彼女は言った。

③ () (かっこ)

ใช้ในกรณีที่ต้องการอธิบายให้ละเอียดมากขึ้น แสดงเสียงอ่าน หรือการกล่าวแทนคำศัพท์ที่ผู้เขียนต้องการสื่อ

例：この調査は、スアンスนันターラชาวัตต大学 (SSRU) で行った。

UN (国際連合)^{れんごう} の本部はニューヨークにある。

メーデー (5月1日) は労働者の祭典日^{さいてんぴ}とされている。

百合 (ゆり) の花はいい香りがある。

④ ・ (中黒、中点)^{なかくろ なかてん}

- 使用เรียงลำดับคำที่อยู่ในหมวดหมู่เดียวกัน

- 使用เว้นวรรคชื่อชาวต่างชาติ หรือคำศัพท์ที่มาจากภาษาต่างประเทศ

例：トーマス・エジソン アダム・スミス

^{しりつ ちょうりつ} 市立・町立病院 小・中・高の教育体制^{たいせい}

⑤ …… (リーダー) ใช้เมื่อต้องการอ้างอิงข้อความที่มีความยาว โดยการยกมาเพียงส่วนหนึ่ง

例：新聞^{とうしよらん}の投書欄に、「近ごろの政府に関する問題はいろいろある。……だが、一番大きな問題は、若者が政府に関心を持っていないことだ」という意見^{いけん}があった。私も、この意見^{いけん}に賛成する。

《練習》 แก้ไขข้อความต่อไปนี้ให้เป็น 体 และ แก้ไขเครื่องหมายที่ผิดให้ถูกต้อง

ワット、アルンは、日本人の間では『^{あかつき} 暁の寺』という名前で有名です。三島由紀夫が

タイを舞台^{ぶたい}に (暁の寺) という諸説を書いたためです。ワット、アルンのあるトンブリ

地区^{ちく}は、首都が現在のバンコクになる前の首都があった場所です。アユタヤ王朝^{おうちょう}

(1350→1767) がビルマ (現在のミャンマー) との戦争^{やぶ}に敗れ、その歴史を閉じた後、

タクシン王 (1767→1782) がビルマからアユタヤを^{うば}奪い返し、1767年に首都をトンブ

リに決めました。これがトンブリ王朝の始まりなのです。

くとうてん
句読点

A 句点 (。 マル) の打ち方

文が終わったところに打ちます。

《練習》 次の文に句点 (。) を書き入れなさい。

サケは川の上の方で卵を産む子どものサケは3～4センチぐらいになるとふるさとの川を下って海へ出ていく3～4年の間広い海でくらすサケは立派な大人になってふるさとの川に帰る卵を産むためだ広い海から自分が生まれた川にどうやって帰るのだろうか。

B 読点 (、 テン) の打ち方

ใช้เพื่อทำให้ประโยคอ่านได้ง่ายขึ้นโดยมีลักษณะการใช้ดังต่อไปนี้

① เรียงคำศัพท์

- わたしはピアノ、バイオリン、フルートの曲が好きだ。
- 数学、英語、理科、体育などの授業がある。
-

② ใส่หลังคำสันธาน (しかし、そして など) หรือคำที่ทำหน้าที่เชื่อมประโยค (その一方で、それに対して など)

- この辞書は軽くて便利だ。しかし、例文が少ない。
- この薬は非常に効果がある。その反面、使い方が難しい。

③ ใช้ในรูปต่อเนื่อง (V て → V ます) (ないで → ずに)

- このテキストは説明がわかりやすく、値段も高くない。
- 本日の討論では計画案がまとまらず、もう一度話し合うことになった。

④ ใช้กับการนำคำนามมาใช้เป็นคำวิเศษณ์ มักใช้ในคำที่แสดงความหมายเกี่ยวกับเวลา

- 昔、人はどうやって時間を計っていたのか。
- 明日、本の貸し出しは5時間までだそうだ。

⑤ ใช้เมื่อต้องการแสดงให้เห็นความสัมพันธ์ของคำในประโยค

- 1 か月前に、完成した建物を見に行った。
- 1 か月前に完成した建物を、見に行った。

⑥ ใช้เพื่อแบ่งแยกกลางประโยค เช่นหลังคำว่า …が、…場合、…とき、…たら หรือวางหลังคำที่ต้องการเน้นให้เห็นชัดเจนขึ้น

- 村の人たちはこの問題についていろいろ話し合ったが、いい考えは出なかった。
- どうすれば生活習慣を改められるかについては、どの人も大体同じ意見を持っている。

⑦ บางกรณีใช้ในการเว้นวรรค หรือแบ่งตัวอักษรอิสระคานะ, คันจิ เพื่อให้อ่านเข้าใจง่าย และหลีกเลี่ยงการแปลความหมายผิด

- 前に、はやった遊びを今の子どもたちもやっている。
- 今、日中の平均気温は22度ぐらいである。